

70号

真宗大谷派
高德寺通信
2017年春号



バズバズで いっしょ

真宗大谷派の本山、京都の東本願寺が毎月
出している同朋新聞という新聞がある。そこ
に、福島智さんという東京大学の教授のこ
とが載っていたのでご紹介しよう。1962年、神
戸市生まれの福島先生は、小学生で全盲
となり、高校生の時に突発性難聴により聴
覚も失ってしまつた。それまでは言葉を喋ら
ず来た福島先生は、相手の言うことを受けと
めることが出来れば、自分の気持ちや語
ることが出来る……そこで、お母さんが「指
点字」なるものを考案された。相手の3本指の指

き、点字の6つの点の組み合わせに見立て、指で
相手の言ったことを通訳さんがタイプのように押
すと、五十音全て分かるので、即座に答えるこ
とが出来て、全盲、全聾でも人との会話が成
り立つのである。はじめはお母さんがされていた通
訳を、今では奥さんがされているそうだ。

東大で教授をされている福島先生のお書きに
なっている本の中に、「生きるって人とつながること
だ」という本がある。自分は目が見えないし、
耳が聞こえないけれど、指点字を通して繋がる
ことと之が出来れば、目が見えないことや、耳が聞
こえないことは障害ではないと仰っている。人と
は違ふかもしれないが、指点字のおかげで意思の
疎通も出来るし、自分の意見や人に伝えるこ
とも出来る。だから繋がることと之が出来れば障
害じゃない……と書かれている。指点字の通訳
の人が同時通訳をしてくれるおかげで、人と対
話が出来るのだ。けれども、もしも通訳の人が
手を離れたら、その瞬間に、福島先生は世界

と切断されてしまい、宇宙空間の中に放り出されてしまう…。自分やすぐ隣には暗黒の無限の空間を感じていて、その中に浮んでいるというイメージがあるのだと思う。では逆の場合はどうだろうか。目が見えて、耳が聞こえても、人と全く通じ合えず、意思の疎通が出来なかつたとしたら…。

それはまさに「地獄」ではないだろうか。地獄の「獄」の字は「ケツ」^{ケツ}と「言」と「犬」^{イヌ}で構成されている。お互いに自分の言いたいことを言い放して、相手の言うことを聞こうとしない。

自分のことははっきり主張するので、都合次第では自分以外は全て敵や邪魔者になってしまふ…。地獄とは、言葉の通じない世界…。能力があっても人と繋がることの出来ない人は沢山いるのではないだろうか…。

目が見えなかつたのが見えるようになる



か、耳が聞こえなかつたのが聞こえるようになるのか、そういう問題じゃなくて、そのことが妨げにならない、そのことがあっても通じ合っていく世界が開けてくること…そのことを福島先生は教えてくれているのではないだろうか。阿彌陀経というお経の中に、「青色青光・黄色黄光・赤色赤光・白色白光」という言葉が出てくる。又天親菩薩のお書きになられた「浄土論」の中に「雜樹異光色」という言葉が出てくる。人間の世界を見渡せば、肌の色も食べるものもさまざまだけども、それぞれで異なって光ることの大切…ということである。蓮如上人の500回御遠忌のテーマが「バラバラでいっしょく差違をみとめる世界の発見」というものだった。人間は人とくらべてしまう生きものであるが、どんな状況、状態になっても自分を堂々と生き活きと生きていきたいものである。他とくらべずに自分色に輝いてくれ…。どうかそこに目覚めてくれえ〜と阿彌陀さまはお念仏のはたらきとなって呼びかけてくださっている。バラバラでいっしょ。尊い世界である。



《記念撮影》

お勤めの模様



しゅ しょう え 修正会

2017年1月1日(日)の10時より本堂において修正会が勤まりました。今年もおかげさんで、晴天に恵まれ穏やかな陽の光が射し込む中で、有縁の方々と一緒に「正信偈・同朋奉讃」をお勤めすることが出来ました。お文の拝読と住職によるお話しの後には、茶話会の時間を味わいました。来年も1月1日の10時よりお勤めいたしますのでお話し合わせの上、お参りください。お待ちしております。



◆「完璧に覚えたので孫に作ってあげよう」と♪



◆世界に一つだけの「うまようじ入れ」、完成いん!

寺子屋の時間で...

「シャツ型の爪楊枝入れ」を作ってみました♪
「紙を折ることみんて楽しくて良かった...人にプレゼントしたら喜ばれるかも...」などとお喋りしながら和氣藹々とした集いとなりました。

◆様々な包装紙を集めておいて好みの柄で作ると楽しいですよ。

才14回 高德寺旅行会

青森の春 弘前 & 黒石

◆ 期日 2017年 4月 18日(火)

~ 20日(木)

津軽の文化を味わう旅 

◆ 旅行費用 お一人様

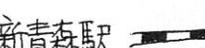
75,000円

… (費用には 宿泊費・交通費・食費・観光等 + 保険料が含まれます。)

※ 寺より補助をさせて頂いております 😊

◆ 募集人員 25名

◆ 申し込み → 3月31日 までに会費を添えて 高德寺へ ♪

| | |
|---------|--|
| 1日目 | 東京駅  新青森駅  弘前駅 |
| 4/18(火) | ドミン弘前(チェック).... 弘前城他散策 — 夕食(津軽三味線ライブ!)... ホテル(泊) |
| 2日目 | ホテル  立佞武刃の館  古川市場 de "のりけ" の昼食 |
| 4/19(水) | — 県立美術館・三内丸山遺跡 (オプション) 伝統工芸体験 — 『花禅の庄』 (泊) |
| 3日目 | 旅館  (八甲田経由: 雪の回廊) — 十和田湖遊覧 & |
| 4/20(木) | "十和田プリンスホテル" de 昼食 — 盛岡駅  東京駅(解散) |

毎年5月に開催しております旅行会ですが、今年は4月となっておりますので、申し込み締め切りを3月いっぱいとしていただきます。「申し込み用紙」は寺にありますので、参加ご希望の方は高德寺(住職)までご連絡ください。ご参加を心よりお待ちしております♪

のうこつ ぼ 納骨墓 『 きさい びやう 帰西廟 』 のご案内

2017年1月
よりお分けしています

高德寺の境内墓地に新しいかたちのお墓が誕生いたしました。お墓を建てる費用がかからず、独立した区画ですぐに納骨することが出来ます。“墓じまい”の心配がありません。交通の便の良い所、車でお参り出来る所、静かで明るい墓所をお探しの方は是非一度ご覧になっていただきたいです。

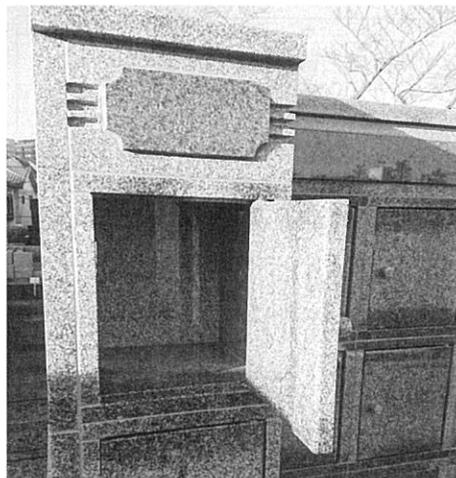
◆ 1区画...

- 1名(1体)~4名(4体)の遺骨をご安置(納骨)出来ます。
- 20年間ご使用可能です。65万円(税込)の墓地使用莫加金(別途維持費)がかかります。
- ※ 20年経過しましたら、有縁塔又は帰西廟へ合葬いたします。延長も可能です。(5年間10万円の莫加金がかかります。)
- 一年365日いつでも(開門時間内)お参りが出来ます。



○ 見学随時
○ 詳細のご確認やお問い合わせは高德寺まで連絡ください。

◆ ご使用される区画には「〇〇家」というプレートがつきます。(家紋も入れられます)



◆ お骨壺から“南無阿彌陀佛”と書かれた袋にお移して、納骨いたします。



◆ 2016年12月に「納骨墓 建立法要」をお勤めいたしました。(中央の六字名号は才24世・釋義道の筆)

春彼岸会 3/17(金) ~ 23(木)

3/20 (月・春分の日) えいたいきょう

11:30 ~ 本堂にて「永代経」

のご法要が勤まります。

本堂にお上がりになってお参りください。

新井白石記念ホールが...

3/19(日)・20(月)

お休み処・お待ち合わせ処

にあります。(10:30~15:00くらい)

ご利用ください♪

全職が
参加している
バンドです。
チャリティー
で開催します。
お待ちして
おります♪

Syaksons

シャクソング・ライブパーティー のご案内

7月30日(日)

16:00 開場

16:30 ミュージックショー

17:00 開演

20:00 終了(予定)

乞う! ご期待!!

カンパ御礼

応援していただきまして
有ること難しのおかげです。

大井 克彦さん

田中 武久さん

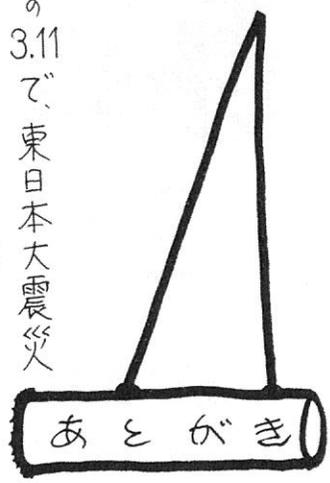
服部 公彦さん

磯村 貴美子さん

永川 淳子さん

神野 くらうさん

匿名 希望さん (いいえ、
"順"です)



あとがき

今年の3.11で、東日本大震災から6年が経つ。犠牲になられた方々の七回忌の年にあたる…。

あの日…都内で大きな揺れに遭い、電気店の大型テレビに

映し出された光景を観た時…4/22に大谷派

のボランティアチームと陸前高田の瓦礫の中に立って

言葉を失ったあの時…から今日までの時の流れの中で様々なことが

色褪せていき、あの時と違っている…。七回忌とこの節目の年の彼岸会に、

謹んで哀悼の意を表し、震災とは何だったのか？自分とどう関わっているのか…？

そういうことを問ひながら、静かに合掌し、お念仏を称えてみたいと思う。
釋義祐

私たちが答に

会之なるの問が

はつちがこゝろに



発行日 2017.3.17

発行 真宗大谷派 高德寺

編集 住職 新井義雄

表紙の絵 “お文箱”

〒164-0002

東京都中野区上高田 1-2-9

☎ 03-3368-6947

FAX 03-3362-8019

法語『私たちが答に会之なるの問がはつきりしないからである』
(岡村廣慶さんのことば)

印刷 御礼 鮮明堂印刷(株) / 藤井清三様